



2024年6月17日

各位

スパークス・グループ株式会社  
代表取締役社長 グループCEO 阿部 修平  
(コード 8739 東証プライム市場)

## 「未来創生3号ファンド」ECブランドの共創型M&Aを推進する

### MOON-X株式会社への投資実行

— 次世代のブランドポートフォリオ企業を目指す —

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2021年10月に設立された「未来創生3号ファンド」が、MOON-X株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：長谷川 晋。以下、MOON-X社と表記）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。MOON-X社は今回の調達資金を活用し、ECブランドM&Aの実施、人材採用を実施します。

#### ■ 投資先企業の概要

MOON-X社はベビー用品の企画、製造販売などを手掛けるケラッタ株式会社や「ヒツジのいらない枕」の株式会社太陽をはじめとし、ECブランドのM&Aを実施してきました。MOON-X社は事業会社出身のメンバーを多くそろえ、型化されたプロセスによりM&AをしたECブランドを継続的に成長させることが可能です。今後もECブランドのM&Aを重ね、日本を代表する次世代のブランドポートフォリオ企業を目指します。

#### ■ 「未来創生（1号）ファンド」、「未来創生2号ファンド」および「未来創生3号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生2号ファンドの運用を開始しました。そして、2021年10月から未来創生2号ファンドの5分野に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社をファンド運営者とした未来創生3号ファンドの運用を開始しました。2024年5月末時点の運用資産残高は、1号、2号および3号をあわせて、1,154億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

#### ■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室  
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101  
pr\_media@sparxgroup.com